

リタ・メーガン・レドゥア・ウアニセバ（フィジー）



私の名前はリタ・メーガン・レドゥア・ウアニセバです。フィジーの地方・海洋開発・災害管理省国家災害管理局（NDRMO）で、GISを担当する主任行政官として働いています。私はスバのヴァトゥワカ小学校で教育を受け始め、その後はセント・ジョセフ・セカンダリースクールで学びました。また、南太平洋大学では、地理空間情報に関する学士と、太平洋諸島と海洋管理の大学院の課程を修了しました。

キャリアの初期におきましては、南太平洋大学のGISとリモートセンシングの学士課程コースで講師を勤めました。その後、地理空間アナリストとして国土鉱物資源省に入省し、地理空間データベースの更新と分析、測量計画の立案、フィジーの地籍を調査する業務などを担当しました。また、フィジー国内の土地利用に関する情報を更新することで、国有地の台帳の更新にも貢献しました。さらに、国有地利用マスタープランに関する地図の作成、フィールドワークの実施、関係者へのインタビューなどの業務を担当しました。現在は、NDRMOの上級行政官（GIS担当）として、災害リスク軽減、土地利用計画、環境モニタリングのさまざまな国家プロジェクトに貢献しています。

ここに示した多くの経験は、私の能力向上のための意欲や情熱を促してくれました。今回、ADRCの客員研究員プログラムに参加する機会を与えてくれたことに、心から感謝しています。ADRCのスタッフの皆さまから学ぶことは貴重な経験であり、私の現職である災害リスク軽減の地理空間アナリストに大きく貢献すると期待されます。